

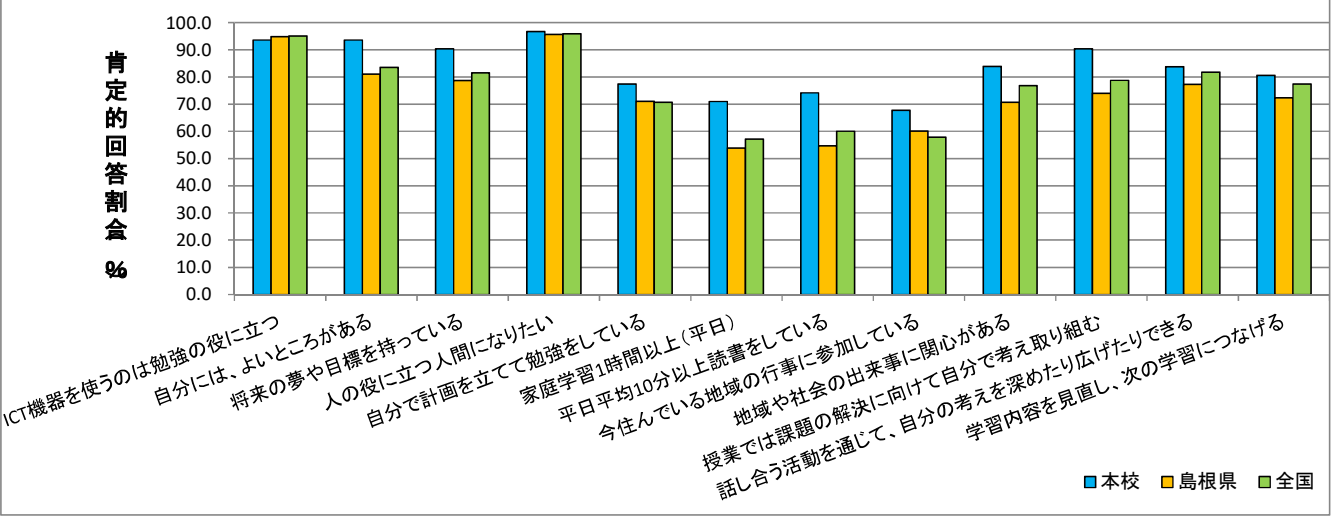
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力がついてきている。 ●他者の考えと比較しながら自分の考えをまとめる力に課題が見られた。	・学びタイムの時間を中心に、漢字を使った例文づくり、短い問題文の読み取り、ワークシート通信、新聞要約、条件付き作文などに学年に応じて継続的に取り組む。
算数	○「データの活用」についての設問について全校区平均値に比して正答率が高かった。 ○全体的に無回答率が低く、自分なりに考えをもち取り組んでいることがわかる。 ●図形領域で課題が見られる。特に、図形の性質を用いて説明をすること。	・学習の中で自分の考えを言葉や図などを使って説明する場面を設定する。学年に応じて算数で使う用語や図形の性質などを使って説明する力を伸ばす。

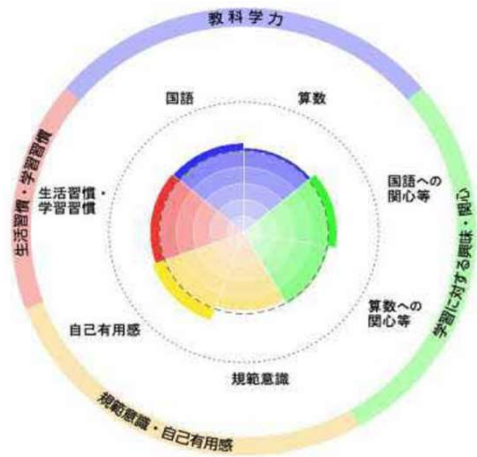
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自分で計画を立てて学習をすることができる児童が増えてきた。 ○自分によいところがある、将来の夢や目標があると答えた児童が増えた。 ●学習の中で友達と意見を伝えあう中で、自分の考えのよさを見つけていると感じている児童が県平均よりも低かった。	・伝え合い、ふりかえりの時間をしっかりと、友達の考えのよいところや自分の考えとの違いに気づく場を設定する。 ・自分の書いた文章を読み返す習慣をつける。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・1人1台のタブレットの効果的な利用に取り組む。
・校内研究では、主体的な課題との関わりに重点をおき、児童の思いや願いを大切にしたい課題づくり、児童が自らの課題意識をもち、進んで課題を追究できるような学習過程を大切にする。

【受検者数】
30 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。